

チャノミドリヒメヨコバイ (Tea green leafhopper)

Empoasca onukii



汁を吸われて色が変わった葉脈、
幼虫(中央上)、成虫(左下:体長約3mm)



害を受けて伸びなくなった新芽

特徴

体は緑色で、透き通った羽をもっています。名前のお通り「横に這い」ます。「ウンカ」と呼ばれることもあります。

夏の初めから秋にかけて発生します。最近、京都ではこの虫による被害が問題になっています。

台湾の茶(東方美人)では、この虫に新芽を吸わせて、香りをよくするものがあります。

被害と対策

新芽や若い葉にストロー状の口を挿し、汁を吸います。吸われた新芽は伸びなくなるので、被害は深刻です。

水と風を吹き付けて防除する機械が実用化されています。